

トピックス

「美しい森林づくり」の推進

平成 21 年度 近畿中国森林管理局重点取組事項

近畿中国森林管理局は、『美しい森林づくり』の推進を通じて、民有林の関係者との一層の連携を図りつつ、地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする国民のニーズに応えた多様で活力ある森林の整備や木材の安定供給に積極的に取り組みます。

1 地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進

京都議定書の温室効果ガス削減目標の着実な達成に向けた森林の整備のため、間伐をはじめとする森林整備を積極的に推進します。

○間伐等の重点的な推進



地球温暖化防止の森林吸収目標である 1,300 万炭素トンの確実な達成に向けて、間伐をはじめとする森林整備を積極的に推進します。

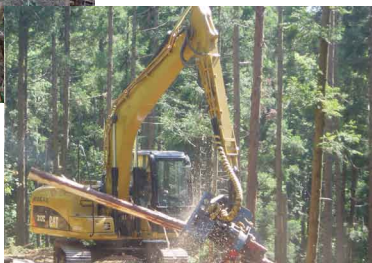
本年度は、約 7,800ha の間伐を実施します。

○民有林と連携した森林共同施業団地の設定

民有林と国有林が連携して森林共同施業団地を設定し、路網の整備や高性能林業機械を活用して効率的な森林整備を実施します。

○低コスト路網生産システムによる森林整備

昨年策定した「低コスト路網生産システム導入指針」に基づく取組の普及・定着を進めるとともに、システム販売を通じた木材の安定供給を推進します。



2 生物多様性の保全・野生鳥獣との共生を目指した森林づくり

原生的な天然生林や貴重な野生動植物が生息・生育する森林については適切に保全・管理を図るとともに、人工林においては間伐、複層林化、針広混交林化による多様で健全な森林の整備・保全に努めます。また、野生鳥獣の保護管理と森林への被害対策を一体的かつ効率的に進めます。

○野生鳥獣による被害森林の保護・再生事業の推進

二ホンジカの増加などにより、森林の衰退が進行している大台ヶ原地域の大杉谷国有林において、関係者の連携により、森林の再生及び保全のためのモデル事業を実施します。また、カワウによる被害が拡大している琵琶湖岸の伊崎国有林の被害森林の再生を推進します。

○天然力の活用等による針広混交林化の推進

自然的・地理的条件等を考慮しつつ、人工林を針広混交林へ誘導するため、人工林内の広葉樹の天然生稚樹の発生・生育メカニズムの調査・解析に取り組みます。



○グリーンサポートスタッフによる巡視等

入林者が増加・集中する世界遺産周辺や百名山等の植生荒廃等を防止するため、グリーンサポートスタッフによる巡視や入込者への普及・啓発活動を実施します。

3 国民参加の森林づくり・人づくり

森林づくりに関心を寄せる多くの市民や企業などが気軽に活動に参加できるよう多様な取組を推進するとともに、未来を担う子ども達が、森林・林業に関する理解を深め、自らの生きる力を育むことにもつながる森林環境教育の取組を進めます。

○オオクワガタの棲める森づくり

広葉樹の育成や菊炭づくり体験等を通じ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上を目指す「箕面体験学習の森」において、かつての里山林を整備するため、ヒノキ・スギ林からコナラなどの落葉広葉樹への転換を目指します。

○森林ボランティア活動の支援

森林ボランティアの活動フィールドとなる「ふれあいの森林」の整備を進めるとともに、森林ボランティアリーダー養成スクールのフォローアップ、森林・林業の普及に関するネットワーク会議の開催等により、森づくりに関わるNPO等の活動を支援します。

○「法人の森林」を活用したCSR活動の支援

「法人の森林」の設定や企業とNPOとの協働による森林づくりなど、国有林のフィールド提供を通じ、企業の森林づくりへの参加を積極的に支援します。

○「森林環境教育プログラム」の普及

森林環境教育プログラムを活用し、教育機関やNPOなど多様な主体と連携しつつ森林環境教育を推進します。

4 木の文化の再生・創造

京都、奈良、広島の世界文化遺産に隣接する国有林において、景観に配慮した森林づくりを進めるほか、社寺など歴史的木造建築物の修復用資材を供給することにより、木の文化の再生・創造に努めます。

○古都を彩る森林景観づくり～京都伝統文化の森推進協議会～



世界文化遺産の背景林として重要な位置にある京都東山風景林について、一般市民や民間企業等の参画による古都京都を彩る

森林景観づくりを推進します。

○歴史を未来へつなぐ森林づくり

歴史的木造建築物の修復用資材の供給に取り組むとともに、これらの建築物と一体となった森林景観の保全等を推進します。

5 安全・安心を確保する治山対策の実施

近年の局地的な豪雨の頻発や地震による大規模な山地災害の発生を踏まえ、地域と連携した減災対策など「犠牲者ゼロ」に向けた効果的・効率的な治山対策を推進し、地域の安全・安心の確保を図ることとしています。

○地域と連携した整備の推進

崩壊、落石などによる山地災害のおそれがある地域において、治山施設の設置とあわせ地域住民の山地災害に対する意識を高められるよう取り組みます。

・また、山村集落周辺の水源林となっている保安林に

おいて、地域住民の参画による治山施設や荒廃森林の整備に取り組みます。

・近接した国有林・民有林について、森林管理局と府県が連携して治山対策を行う「特定流域総合治山事業」を引き続き推進します。

○間伐材等木材利用の推進



間伐材を利用した山腹工

事業の実施に当たっては、土木構造物の資材や型枠に間伐材など木材を利用し、資源循環の促進を図ります。

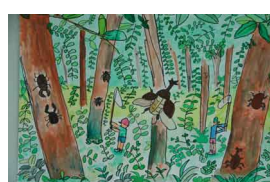
6 「美しい森づくり推進国民運動」の積極的な普及・PR

地域や市民団体との共催によるふれあいイベントの開催を通じた普及・PRに率先して取り組み、その推進を図ります。



平成20年度水都おおさか森林の市の様子

- ・水都おおさか森林の市
- ・古都のマツの緑復活プロジェクト
- ・グループ対抗里山デジカメ選手権
- ・森と木の絵画コンクール
- ・森林ふれあい推進事業
- ・局庁舎森林のギャラリー
- ・各地で開催する植樹祭・育樹祭、自然観察会、清掃活動等



関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

地域ニュース

タケノコ掘って熊野古道を整備

【和歌山森林管理署】4月11日、世界文化遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の一つ熊野古道「高野坂」のある御手洗国有林内で、タケノコ掘りと孟宗竹の伐採作業を行いました。

竹林伐採整備の様子



作業はおおよそ0.5ヘクタールにわたって侵入してきた孟宗竹の本数調整を目的とするもので、今回で5回目となります。今回は、一般から募ったボランティア21名と森林管理署OB4名、和歌山森林管理署の職員13名の計38名が参加しました。署長から、「熊野古道の景観を守るための作業に参加いただきありがとうございます。ここは、侵入してきた孟宗竹の本数調整のためにタケノコを掘ります。また、その後竹の伐採も行います。皆さんの力で森を良くしましょう。」と挨拶のあと、同署職員からタケノコの掘り方や伐採の仕方、安全作業等についての説明を受け、4班に分かれて約2時間、古道沿いの竹林の整備を行いました。

1時間ほどで区域のタケノコ約80本を掘ったあと、約20本の竹を伐採作業を行いました。

「初めてタケノコを掘りました。タケノコ掘るのは難しい!」「とても楽しかった。来年も親子で参加したいです。」などと声を弾ませていました。

大阪から参加された方は、「3年前にインターネットの新聞記事を見て、昨年申し込んだときにはイベントが終わっていて、3年かけてやっと参加できました。掘ったタケノコと切った竹でビールコップを作って一杯が楽しみです。」と話していました。

また、この様子は新聞社各紙で取り上げられ、世界遺産の保全と国有林の関わりについて大きなPRとなりました。



園児と卒業記念植樹

【和歌山森林管理署】田辺市内にあるわんぱく保育園で卒業記念となる写真飾りと卒業記念植樹を行いました。

卒園生17名と在園生21名の計38名で、丸太の輪切りに木の実やマツボックリを飾り真ん中に写真が飾れるようにした木の写真飾りの作成を行いました。

また、3月17日に卒業記念のシダレザクラの植樹を卒園生全員で行い、園児から「来年花が咲いたらみんなで見に来ようね。」と元気よく大きな声を上げていました。



関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/wakayama/>

都島中学校との協働による緑の募金活動

【局】4月20日、近畿中国森林管理局では、造幣局のサクラの通り抜けて賑わうJR桜ノ宮駅前及び局庁舎前において、「緑の募金キャンペーン」の一環として街頭募金活動を実施しました。当日は、大阪市立都島中学校でボランティアクラブ、社会科クラブに所属する生徒17名とOAPプラザテナント会の参加を得て、緑の募金への呼びかけを行いました。曇天模様で昨年に比べ若干人通りは少ない状況でしたが、中学生の元気な呼びかけに道行く市民も笑顔で募金に応じていただき、1時間ほどで3万335円の募金が集まりました。

ご協力いただいた皆様方ありがとうございました。

なお、集まった募金は、(社)国土緑化推進機構を通じて、地球温暖化防止のための森林整備、緑化推進や森林ボランティアの活動支援などに役立てられます。



JR 環状線桜ノ宮駅前募金活動

フレッシュな顔ぶれ12名が入庁

【局】4月9日、近畿中国森林管理局大会議室において平成21年度の新規採用者12名の入庁式を行いました。新規採用者は、4月1日から管内の各署等に配属されていますが、新規採用者研修に臨むために局へ集まりました。入庁式では、朝比奈局長から「地球温暖化防止対策等地球環境問題が懸念されているなか、世界経済状況の悪化の影響により、国内でも木材の需要が減少し、木材価格の低迷など林業を取り巻く環境は厳しい状況だが、森林が有する多面的機能を十分に発揮できる森林整備・保全は最重要であり、国民から信頼される森林づくりを目指して頑張ってください」と、訓示がされました。

局長訓示の後、新規採用者を代表して広島森林管理署の江間薫さんが「国民が森林についてより関心を持ち、国民自身が森林を次世代につないでいくための様々な活動を支援したいと考え、この目標達成のためにも先輩方の豊富な知識、技術を着実に習得し、早く活かしていけるよう一生懸命頑張っていきたい」と宣誓しました。

新規採用者12名は研修終了後、それぞれの職場で活躍することになります。



新たな気持ちで宣誓する新規採用者 12名

お知らせ

「山地災害防止キャンペーン」の実施

山地災害が一番多いのは梅雨の季節です。林野庁では、毎年5月20日～6月30日までの期間「山地災害防止キャンペーン」を全国的に展開し、山地災害危険地区の周知やパトロール、山地災害に備える広報活動、防災訓練などを行っています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyoukai/saigai/saigaitop.html>

大台ヶ原・大杉谷国有林エコツアー 参加者募集

大台ヶ原・日出ヶ岳（1,695 m）から、大杉谷国有林内原生林の自然豊かな尾根を歩きます。大杉溪谷の最源流部の谷、母なるブナの原生林などを巡ります。大台ヶ原の美しい自然林と歴史にふれあってみませんか。

日程 5月30日（土）～5月31日（日）
 集合解散 近鉄橿原神宮前駅中央口
 募集人員 先着30名（定員になり次第締切）
 参加費 大人24,000円（1泊4食付）
 参加申込 電話、はがき、FAXでお申し込み下さい。
 （名前、年齢、住所、電話番号、参加人数を記入）
 申込期限 5月22日

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/fureai.html>

初夏の上山高原でエコ体験 参加者募集

近畿中国森林管理局では、野生鳥獣と共生し地域の発展に資する森林づくりを目的として、平成19年に「東中国山地緑の回廊」を設定しました。

今年度は、この緑の回廊の最北端に位置する上山高原をフィールドとして、下記のとおりワークショップを開催します。ワークショップでは、上山高原でブナ等の植樹箇所での草刈り体験やブナの天然林を巡るトレッキングを行い、緑の回廊や野生鳥獣との共生を目指した森林づくりなどについて参加者みんなで考えます。

日時 平成21年6月6日（土）9時～15時
 実施場所 兵庫県美方郡新温泉町
 上山高原及び上山高原ふるさと館
 募集人数 50名（先着順）
 参加費 無料（保険料・昼食代は徴収します。）
 申込期限 5月29日

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sodateyou/higasi_chugoku_2009.html

森林のギャラリー（局庁舎1階）

5月の展示（4月27日～5月15日）
 地場産木材を内外装に（日本住宅パネル工業協会）
 200年住宅の構造模型躯体等の展示

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>